

三浦半島労福協・地域連合、フードバンクかながわ学習会及び 食料【お米 44.8 キロ・副食 46.2 キロ】カンパ 14,328 円を寄贈!



6月23日(月)14時から、フードバンクかながわを訪れ、2025 三浦半島統一メーデーなどで集めた食料寄贈及び体験学習会を7名の参加で行いました。

はじめに食料寄贈を行い、2025 三浦半島統一メーデー期間に集めた食料【お米 34 点・44.8 キロ、副食 188 点・46.2 キロ】、カンパ金 14,328 円を寄贈しました。

その後、約1時間の座学、講師は神奈川県労福協の市川前事務局長から、フードバンクかながわの設立経緯、ここまでの状況などの説明を受けました。設

立して8年目に入り、急激な物価高騰などの影響で、食料に困っている方が増加、対応するための苦労や、冷凍食品を受け入れ可能にするなどの新たな取り組みを聞くことが出来ました。

座学後は体験学習会、三浦半島統一メーデーで持ち寄った食品などの計量と仕訳をおこないました。



お米以外の食品は仕訳を行います。まずは主食・副食・飲料などに分け、その後、賞味期限

別に分けていく作業を約1時間に渡り行い、16時過ぎに終了しました。一方お米は、実際の作業は出来ませんでした。困窮者をこまめに支援して行くことが出来るように1.2キロごとに小分けをすること

を聞くことが出来ました。

今回もフードバンクかながわの倉庫は食料不足している状態でした。現在は政府備蓄米が月に8t入りなんとか需要にこたえているが逆に副食が非常に不足しているとのことでした。

このような体験学習会は単組でも実施出来ます。是非、開催し、フードバンクかながわへの理解を深めて今後も、フードドライブ活動へのご支援ご協力をお願いいたします。

